

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.20
課名	環境農林課
グループ名	環境保全グループ
記入者名	

## 1 事業概要

(1)事業名	し尿処理事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	快適な環境のまちく生活環境の整備	①会計区分	一般会計		
②大項目	下水道	②財源区分	町単独		
③中項目	し尿処理施設の維持管理	③予算科目	款	4	項 2 目 3
④施策	し尿処理施設の維持管理	④予算事業名	し尿処理事業費		
⑤施策コード	4.2.6.1	掲載ページ	71	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無		
②根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	終了	未定	年	月まで
③事業期間	開始	不明	年	月から	

## 2 事業の目的・内容等

(1)目的(何のために行うか)	(2)内容(どのような取り組みか)
し尿及び浄化槽汚泥の安定的な処理を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金の支出</li> <li>・老朽化施設の修繕</li> <li>・施設設備の点検</li> </ul>
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
町民(合併・単独浄化槽、汲み取り、農業集落排水)	し尿及び浄化槽汚泥の安定的な処理を継続させる
対象数	14,173
単位	人

## (5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

下水道接続及び浄化槽敷設世帯が増加し、汲み取り世帯は減少している。  
下水道接続世帯増加に伴い、処理量は減少傾向にある。

## (6)SDGsへの貢献



## 3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容)名称		し尿処理事業費				
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳						
報酬		0	0	0	0	0
報償費		0	0	0	0	0
需用費		0	0	0	0	0
役務費		0	0	0	0	0
委託料		0	0	0	0	0
その他		64,263	53,025	72,147	67,852	70,722
直接事業費合計		64,263	53,025	72,147	67,852	70,722
(3)財源内訳						
国庫支出金		0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他特定財源		0	0	0	0	0
一般財源		64,263	53,025	72,147	67,852	70,722
合計		64,263	53,025	72,147	67,852	70,722
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数		1	1	1	1	1
年間人件費		7,628	7,542	7,521	7,772	8,032
(6)総事業費		71,891	60,567	79,668	75,624	78,754
サービス量(人)		15,777	15,300	14,994	14,173	14,173
サービス単価		4.6	4.0	5.3	5.3	5.6
(単位)		千円/町民1人当たり				

4 指標の検証				し尿処理事業費			
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量)							
指標名		目標値					
		実績値					
		達成率					
		目標値					
		実績値					
		達成率					
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)							
指標名	共同処理事務件数(総振目標指標p116) R8年度目標値 18件	目標値	件	18	18	18	
		実績値	件	19	19		
		達成率	%	105.6	105.6		
		目標値					
		実績値					
		達成率					
(3) その他指標に現れない成果							
農業集落排水処理施設から発生する汚泥についても処理している。							
5 事業評価							
(1) 項目別評価							
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他( )		
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他( )		
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他( )		
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他( )		
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他( )		
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他( )		
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他( )		
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)							
処理施設の老朽化や合併処理浄化槽の普及により、し尿及び浄化槽汚泥の処理量や性状が変化してきているが、日々搬入される汚泥量の調整(平準化)や施設の運転等に工夫を加えながら安定的に処理できている。							
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明					
(1) 一次評価 (担当課長)	2 現状維持	引き続き小川地区衛生組合で処理を継続する。					
(2) 二次評価 (政策推進課長)							
(3) 最終評価 (町長)							